

維新政治の深刻な行き詰まりは教育分野でも顕著に表れています。日本共産党大阪府委員会の小林裕和文教委員会責任者のリポートです。

### 揺れる

## 維新政治



子育て・教育・学校について語り合った「教育フォーラム」=2013年11月9日、枚方市

## 党大阪府委 文教委員会責任者 小林裕和さんリポート

大阪では、安倍政権の補完勢力・突撃隊としての橋下「維新の会」が政治権力が教育に介入する教育関係条例(2012年3月7月)や「国旗・国歌」強制条例(11年6月)を強行成立させ、大阪市での全国いっせい学力テスト学校別結果公表の強制、公立高校の学区制撤廃、府立学校卒業式・入学式「君が代」斉唱時の口元チェックなど、競争主義教育と「愛国心」教育を強権的に教育に介入して進めています。

## 教育破壊の暴走

府立高校長在任中の(昨年9月)で日本共産党が自主的に支援した現職の竹山修身氏が、岸和田市長選(同11月)でも同じく自主支援した新人の信貴芳則氏が勝利し、「維新」が痛い敗北を喫したことがあります。

# 府民の共同でストップ

大阪では、安倍政権の補完勢力・突撃隊としての橋下「維新の会」が政治権力が教育に介入する教育関係条例(2012年3月7月)や「国旗・国歌」強制条例(11年6月)を強行成立させ、大阪市での全国いっせい学力テスト学校別結果公表の強制、公立高校の学区制撤廃、府立学校卒業式・入学式「君が代」斉唱時の口元チェックなど、競争主義教育と「愛国心」教育を強権的に教育に介入して進めています。

府立高校長在任中の(昨年9月)で日本共産党が自主的に支援した現職の竹山修身氏が、岸和田市長選(同11月)でも同じく自主支援した新人の信貴芳則氏が勝利し、「維新」が痛い敗北を喫したことがあります。

ここに、教科書検定基準の改悪や道徳の教科化、教育委員会制度の改悪など、安倍政権が改悪教育基本法の具体化として進めようとしていること、先取りがみられます。

### 10年後退

ある教育関係者は、

府立高校長在任中の(昨年9月)で日本共産党が自主的に支援した現職の竹山修身氏が、岸和田市長選(同11月)でも同じく自主支援した新人の信貴芳則氏が勝利し、「維新」が痛い敗北を喫したことがあります。

ある教育関係者は、こうした教育関係者の共同、府民世論と運動が橋下「維新」による「教育改革」を行き詰まりと破綻に追い込んでいる。保護者・市民の批判が噴出するなか、14年度35人採用予定のところ、昨年末に辞退者が相次ぎ、13人に激減しました。